

平成 31 年 4 月 24 日

## 少雨による干ばつ対策について

農業総合センター  
専門技術指導員室

農業用水の確保のため、関係機関との調整を図り、計画的な配水が行われるよう措置する。

### I 野菜

- 1 干ばつ傾向にある地域においては、土壌の保水力を高め、また、根の深く張らせるために、深耕、有機物の投入等に努める。さらに、マルチ等により土壌面からの蒸発防止に努める。
- 2 ハダニ類、アブラムシ類等干ばつ時に発生が多くなる傾向の病害虫については、その発生動向に十分注意し、適期防除に努める。

### II 果樹

- 1 干ばつ傾向にある地域においては、用水の確保に努め、敷わら、敷草等により、土壌水分の蒸発を極力抑制しつつ、適宜かんがいを実施する。
- 2 草生園においては、干ばつ期の草刈りを実施し、防水透湿性シートによるマルチ栽培を行っている園地においては、マルチを巻き上げてかん水を行う、かん水チューブによりドリップかんがいを行う等により、地表面への直接かん水に努める。
- 3 かん水に当たっては、かん水設備の漏水・目詰まり等に留意し、適切にかん水が行われるよう事前に点検を行う。
- 4 ハダニ類、アブラムシ類等干ばつ時に発生が多くなる傾向の病害虫については、その発生動向に十分注意し、適期防除に努める。

### III 花き

- 1 干ばつ傾向にある地域においては、土壌の保水力を高め、また、根の深く張らせるた

めに、深耕、有機物の投入等に努める。さらに、マルチ等により土壌面からの蒸発防止に努める。

- 2 ハダニ類、アブラムシ類等干ばつ時に発生が多くなる傾向の病害虫については、その発生動向に十分注意し、適期防除に努める。

#### **IV 茶**

- 1 茶園については、敷草を行い土壌水分の蒸発を防ぐとともに、用水が得られるところでは適切なかん水に努める。なお、改植・新植後間もない幼木園や、台切りや中切り等の剪定を行った茶園においては、少雨の影響を受けやすいと考えられることから、少雨対策は、これらの茶園を優先して行う。

#### **V 飼料作物**

- 1 干ばつ傾向にある地域においては、土壌の保水力を高め、また、根の深く張らせるために、深耕、有機物の投入等に努める。
- 2 草地については、過放牧、過度の低刈りや短い間隔での刈取りを避け、貯蔵養分の消耗を軽減するなど草勢の維持に努める。また、夏枯れ等により草勢の低下が見られた場合には、必要に応じ追播等的確な維持管理作業を行う。
- 3 青刈りとうもろこし、ソルガム等については、収穫期が近い場合にはコストに配慮しつつかん水に努め、かん水が困難又は草勢の回復が困難と見込まれる場合は、早期に収穫を行い品質低下の防止に努める。